

# 平成25年度 第2回習志野市障がい者自立支援協議会会議録

日時 平成25年8月27日(火)  
午後2時から4時  
場所 仮庁舎3階 大会議室

出席者 委員26名 事務局5名  
(委員)

八田委員・内山委員・松井委員・松尾委員・舘澤委員・山本委員  
石井委員・丸山委員・福田委員・窪田(正)委員・山田委員・八尋委員  
加藤委員・奥山委員・武井委員・窪田(規)委員・豊嶋委員・緒方委員  
長尾委員・和田委員・目羅委員・内村委員・森田委員・喜田委員  
平委員・畠山委員

(事務局)

斉藤課長・家弓主幹・屋代係長・市角主査・太刀岡主事

欠席者 委員4名

武石委員・渡辺委員・今井委員・石毛委員

## 開会の言葉 資料確認

(八田会長)

開会の言葉

(事務局)

資料確認

資料：事前配布資料（専門部会会議録、支援会議会議録、第1回習志野市障がい者自立支援協議会全体会議録）及び当日配布資料（次第・席次表・広報紙ならたく・支援会議フローチャート・啓発講座）

## 議題1. 会議報告

### (1) 専門部会からの報告

#### ① 相談支援成人部会

(福田相談支援成人部会長)

- ・計画相談支援事業所をどのように増やしていくかを検討するため、「計画相談についての情報交換会」を7月10日に実施。今後3か月毎に開催していく。
- ・基幹相談支援センターの役割について、イメージを共有した。
- ・保護課職員による研修会を実施。生活保護制度の見直しと新たな生活困窮者対策の全体像について説明してもらった。
- ・今後の活動として、権利擁護について、行政の立場にある講師を招きたいと考えている。

#### ② 相談支援児童部会

(松井相談支援児童部会長)

今年度行うべきことと来年度行うべきことに分けて、話し合いを進めた。

[今年度行うべきこと]

- ・資源マップを市内幼稚園・保育所・小学校・中学校等に手渡しで行うことで、サービスの説明をする機会を作り、周知する。

- ・ 校 園 長 会 議 開 催 時 に、 福 祉 制 度 の 利 用 の 説 明 が 可 能。

[ 来 年 度 行 う べ き こ と ]

- ・ 資 源 マ ッ プ の 手 渡 し に よ る サ ー ビ ス の 周 知 を 継 続 す る。
- ・ 児 童 に 特 化 し た パ ン フ レ ッ ト を 作 る、 既 存 の 冊 子 等 に 組 み 込 む 等 の 意 見 が 出 て い る の で、 検 討 し て い く。
- ・ 社 会 資 源 の 不 足 に つ い て 2 グ ル ー プ に 分 け て 話 し 合 っ て い く。  
 福 祉 サ ー ビ ス は 足 り て お り、 む し ろ 使 い 方 が わ か ら な い の で は な い か と い う 意 見 も 出 て い る。
- ・ 児 童 部 会 を 地 域 の 調 整 役 に 位 置 づ け て い く の が 良 い の で は な い か と い う 意 見 も 出 て い る。
- ・ 困 難 事 例 の 検 討

### ③ 就 労 支 援 部 会

( 武 井 就 労 支 援 部 会 長 )

今 年 度 は 4 つ の こ と に つ い て 取 り 組 む。

- ・ 1 つ 目 は、 委 員 か ら 広 が る ネ ッ ト ワ ー ク 作 り。 各 委 員 の プ ロ フ ィ ー ル や 活 動 を 発 表 し た り、 福 祉 制 度 の 動 向 や 先 進 的 な 取 り 組 み に つ い て 情 報 交 換 を し た。
- ・ 2 つ 目 は、 地 域 資 源 の 現 状 を 把 握 し、 そ の 改 良 や 開 発 の 検 討。 委 員 の 活 動 報 告 を 通 じ て、 何 が 足 り な い の か を 話 し 合 っ た。
- ・ 3 つ 目 は、 広 報 ・ 啓 発 活 動。 就 労 支 援 部 会 で 広 報 紙 な ら た く を 作 成 し、 習 志 野 市 障 が い 者 自 立 支 援 協 議 会 の 名 前 で 年 3 回 発 行 す る。 8 月 に 創 刊 号 2、 2 0 0 部 を 発 行 し た。
- ・ 4 つ 目 は、 市 へ の 施 策 提 言。 1 0 月 以 降 取 り 組 む 予 定。

### ( 2 ) 支 援 会 議 か ら の 報 告 及 び 協 議

( 内 山 支 援 会 議 会 長 )

- ・ 7 月 2 6 日 に 第 1 回 支 援 会 議 準 備 会 を 開 催 し た が、 始 め て み る と 上 手 く 進 ま な か っ た の で、 フ ロ ー チ ャ ー ト を 再 検 討 し た。 前 回 承 認 さ れ た フ ロ ー チ ャ ー ト は、 市 と 玲 光 苑 と 旅 人 の 木 の 3 者 で 案 件 を 支 援 会 議 で 取 り 上 げ る べ き 内 容 か ど う か 検 討 す る と い う も の で あ っ た が、 今 回 提 案 す る フ ロ ー チ ャ ー ト は、 そ の 部 分 を な く し、 案 件 を す べ て 支 援 会 議 で 取 り 上 げ、 協 議 し て い く 内 容 に 変 更 し た。 ま た、 支 援 会 議 開 催 後 に ま と め を す る た め の 準 備 会 を 開 催 し、 同 日 中 に 次 回 の 支 援 会 議 の 準 備 を す る た め の 準 備 会 を 開 催 す る こ と が 追 加 さ れ た。

( 福 田 相 談 支 援 成 人 部 会 長 )

- ・ 支 援 会 議 の 前 後 に 行 う 準 備 会 は、 実 際 に は 今 回 の 案 件 の ま と め と 次 回 の 案 件 の 支 援 会 議 開 催 日 時 等 の 協 議 を 同 日 に 行 う と い う 解 釈 に な る。

( 内 山 支 援 会 議 準 備 会 長 )

- ・ こ の こ と に つ い て、 承 認 を 受 け た い。

～ 承 認 ～

( 石 井 委 員 )

- ・ じ っ く り 検 討 す る の も 良 い が、 も う 少 し コ ン パ ク ト に で き な い か。

( 内 山 支 援 会 議 会 長 )

- ・ す べ て の 検 討 内 容 を 運 営 会 議 に 報 告 す る と、 提 案 事 項 が 遅 く な っ て し ま う の で、 支 援 会 議 の 中 で あ る 程 度 詰 め た 段 階 で 運 営 会 議 に 報 告 す る と い う 方 が 良 い と 思 う。 こ の フ ロ ー チ ャ ー ト で 使 い に く い 部 分 が あ っ た ら ま た 見 直 し て い く。
- ・ 個 人 情 報 の 取 扱 い に つ い て  
 支 援 会 議 で 事 例 が 上 が っ て こ な い。 個 人 情 報 に つ い て 本 人 の 了 承 を 得 た ケ ー ス に 制 限 し て し ま っ た か ら で は な い か と 考 え、 事 務 局 と 情 報 政 策 課 で 協 議 し て も ら っ た。 本 人 の 同 意 が 得 ら れ な い 情 報 を 取 り 扱 う こ と に つ い て、 情 報 政 策 課 に よ る と 「 本 人 の 同 意 が 原 則 で あ り、 契 約 の 段 階 で 同 意 を 得 る こ と が 一 般 的。 し か し、 本 人 同 意 が 得 ら れ な い が 検 討 の 必 要 が あ る 場 合 は、 審 議 会 で 取 り 上 げ、 規 定 す る こ と も 可 能 」 と い う こ と だ っ た。

( 武 井 委 員 )

- ・敷居が高い印象を受ける。利用契約を結ぶ際に同意を得ているが、自立支援協議会で得た情報を取り上げることは難しい。しかし、広く解釈すればできなくもないが、民生委員や事業所でない関係者が支援会議にケースを挙げられる体制づくりができないか。自立支援協議会で様式を作るなど。

(加藤委員)

- ・民生委員の全体研修が明日あり、今回は障がい福祉に関する内容について実施するが、民生委員の中で障がい問題は出遅れている。支援会議で問題解決していくことは、重要なことだが、親側の意見としては、本人の同意を得ずに協議するのではなく、一言声をかけてほしいと思う。

(内山支援会議会長)

- ・今日すぐに答えを出そうというものではない。本人同意が前提。本人同意が得られないが、支援会議で取り上げてほしいというのがあれば声をかけていただきたい。

(丸山委員)

- ・今後、ケースが上がってきたときには、どのように個人情報の同意を得たのかなど、支援会議に上がってくるまでの流れを教えてもらいたい。

### (3)ワーキングチームからの報告

#### ①啓発講座ワーキングチーム

(長尾委員)

- ・日時：平成25年12月8日(日) 13:30～16:30(予定)  
午前中は準備。  
場所：習志野市民会館  
内容：一般市民を対象とする講座を開催したいと考え、テーマは昨年度同様とした。  
テーマ「障がい者の暮らす、働く、学ぶ」。サブタイトルは次回の打合せで検討予定。
- ・2部構成で考えている。

<開会>

1部：講演(13:30～15:20)

- ①障がい福祉課長から、市の障がい福祉行政について簡単に話してもらう。
- ②障がいのある方に就労しながら生活していることについてリレートークしてもらう。  
リレートークは、3、4名程度で依頼。人選について次回の打合せで検討予定。
- ③リレートーク、サブテーマの内容を踏まえ、障がい者の就労について講演してもらいたい。また、②でリレートークをするので、内容を踏まえて、講演をまとめていただける方に応援をお願いしたい。

休憩10分

2部：映画上映会(15:30～16:30)

「しごとのいみ」というドキュメンタリー映画で、習志野市障がい者自立支援協議会においては就労支援部会があるので、障がい者の就労についてピックアップした内容での映画上映会が今回できないかということで決まった。

<閉会>

- ・その他：市内障がい者施設で作成している物品の販売、市内障がい者施設の紹介をするためのパネル展示、保育施設の設置についても検討している。  
ちらしについては、福祉ふれあいまつりで配布できるように準備を進めている。

#### ②資源マップワーキングチーム

(松尾委員)

- ・資源マップは3年前から作成している。
- ・調査票の回収が終わり、確認作業を行っている。
- ・9月中くらいには完成予定。
- ・1年目はカラー、2年目は予算がなく白黒、3年目も白黒だが、チーバくんの画像を使い、親し

みやすくした。

- ・カラー化については、今後予算化していきたい。

### ③福祉ふれあいまつりワーキングチーム

(窪田(正)委員)

- ・日時：10月19日  
場所：イオンモール津田沼 桜広場（屋外）、フードコート（屋内）
- ・昨年度の規模で予定している。
- ・パンフレットの協力、市民の方への周知、当日の応援について、ご協力いただきたいと考えている。

## 議題2. 外部会議の報告

### (1) 習志野市地域福祉計画策定市民検討委員会 会議報告

(内山委員)

- ・地域福祉計画は、義務規定ではなく、作ってもいいというできる規定で、習志野市は平成26年度に向けて、策定するための準備をしている。
- ・習志野市の長期計画の下に、高齢者保健福祉計画、障がい福祉計画、次世代育成支援対策行動計画、バリアフリー基本計画、男女共同参画計画、地域防災計画、産業振興計画があり、これらを横断的に見ながら、市民と共にまちづくりをしていきたいということで地域福祉計画策定の検討が始まった。
- ・習志野市には健康なまちづくり条例があり、健康については別建てになっているため、地域福祉計画策定の検討に含まれない。
- ・メンバーは、学識経験者、連合会長、民生委員、母子保健推進員、高齢者相談員、自立支援協議会委員等。
- ・パブリックコメントをし、制定。

### (2) 習志野市市民協働子ども発達支援推進協議会 会議報告

(松尾委員)

- ・7月26日に第1回会議が開催された。
- ・協議会設立の目的は、ソーシャルインクルージョン。
- ・平成20年度の習志野市発達支援システム等検討協議会をもち、ひまわり発達相談支援センターが設立された経緯がある。それを踏まえた上で、今年度から習志野市市民協働子ども発達支援推進協議会が立ち上がった。
- ・任期は3年。
- ・下部組織には、発達支援サポートネットワーク会議があり、ここであがってきた問題点や施策、目標等を施策提言していく。
- ・今後は具体的な検討をしていくことになるが、ロジックモデルを採用する。  
ロジックツリーと呼ばれる手法を使って検討していくことになるが、この手法について明治大学教授からの講演があった。

## 議題3. 平成24年度習志野市虐待防止センターの実績報告

(事務局)

- ・平成24年10月1日から習志野市障がい者虐待防止センターを障がい福祉課内に設置。  
障がい者虐待に関する通報・届出の事業を行っている。平日は障がい福祉課で対応し、土日祝日・平日18時以降は課長・主幹の携帯電話に連絡が入り、対応することになっている。
- ・平成24年度における千葉県への報告件数は3件。うち、1件は虐待と判断された。

(八田会長)

- ・具体的にはどのような虐待だったのか。

(事務局)

虐待と判断したケース

- ・養護者による虐待。日中活動の場が欲しいという本人からの相談により発覚。  
養護者は、以前就職していた子が倒産により家にいる機会が多くなり、関係が煮詰まってしまったことから、頭を叩くなどをしてしまった。  
現在は就労継続支援Bを利用しており、親子関係は良好。

虐待ではないと判断したケース

- ・養護者による虐待の疑い。養護者が痲癩を起し叩いていると兄弟が心配をして通報してきた。虐待の事実確認ができなかったため、虐待ではないと判断。
- ・障害福祉施設従事者等による虐待の疑い。警察に通報があり、習志野市障がい者虐待防止センターに連絡がきた。  
実際には、施設の職員を中傷するための通報であり、虐待の事実はなかったため、虐待ではないと判断。

## 議題4. その他

### ①全国障害者問題研究会のお知らせ

(緒方委員)

- ・2か月に1回程度、全障研きょうされん活動サークルで研修をしている。  
今回井出みどり先生のお話を500円で聞くことができる。  
全障研の活動は学校の先生たちが多いが、最近は保育士、福祉サービス事業者を巻き込みながら、発達を保障することを基本にいろいろなイベント、研修を行っている。皆さんにもぜひ知ってもらいたくちらしを配布した。よろしくお願ひします。

### ②東松山市の取り組みについて

(内村委員)

- ・8月19日にひまわり発達相談センターで研修を行った。  
テーマ「支え合いと優しさにあふれる町をめざして～わたしたちの試み～」。  
昴☆共生社会研究所元所長、現在埼玉県立大学名誉教授の佐藤進先生をお呼びし、埼玉県東松山市の取り組みについて話してもらった。東松山市の取り組みについては、福祉関係者の間では有名なまちの取り組みであり、習志野市に関してもこれからの方向性を考えていく上で、学んでいってはどうかということをお願いした。内容について非常に良かったので、皆さんに報告したい。
- ・すすめられる法整備は共生社会に向けて進められているという話や、東松山市の基盤として、国際的な流れである権利条約に基づいて東松山市も考えていくということ、大きく変化・進化した「障がい」観ということで、医学モデルから社会モデルへの変換が国際的な流れとなっており、東松山市のプランを作成する基盤となっているということなどの話があった。
- ・佐藤先生は自立支援協議会の会長をしており、東松山市における地域自立支援協議会の位置づけと運営の考え方について話してくれた。東松山市では、6つのプロジェクトを立ち上げており、習志野市という専門部会と同じものであると考えるが、非常に積極的な取り組みをしている。  
習志野市障がい者自立支援協議会の位置付けについて、習志野市においても発展していくべきとこの研修を受けて感じた。  
習志野市障がい者自立支援協議会の考え方や提言が障がい福祉計画に反映されていくというのは当然だが、計画の理念についても、習志野市障がい者自立支援協議会の意見も反映されていくべきだと感じた。
- ・研修会のDVDがあるので、機会があれば、習志野市障がい者自立支援協議会でも見てもらいたい。

(福田委員)

- ・平成24年度に東松山市の研修に行った。  
そのときは、行政の立場での話で、違った切り口なので、興味がある。  
(松尾委員)
- ・DVDであれば、貸し出し等で拝見させていただきたい。  
(内村委員)
- ・今後、DVDの貸し出しについて準備ができれば連絡する。

### ③習志野市障がい者自立支援協議会の名称について

- (内山委員)
- ・名称はどうなっているのか。変更していくのであれば、今始めていかないといけない。  
変更の検討は来年度行うのか。
- (松尾委員)
- ・進め方については、運営会議で検討する。

### 次回について

(事務局)

第3回習志野市障がい者自立支援協議会 全体会

日時：11月26日（火）午後2時から4時

場所：仮庁舎3階大会議室

内容：各部会の報告 広報活動状況 施策の提言に向けた施策案の検討等

### 開会の言葉

(八田会長)

閉会の言葉。